



年輪50

第44号



兵庫県立香寺高等学校 50回生 年次通信

令和5年9月29日

3学年副主任 後藤 多栄子

先日夜、テレビを見ていると、よさこいを集団で踊り切った後、師匠が弟子達に語る様子が放映されていた。圧倒的なパワーと笑顔ほとぼしるパフォーマンス。それをたたえつつも、「この踊りは踊った当人のため、というわけではないのだ。絆、というチーム名にもあるように、次につながる事が大切なのだ」という内容を切々と語られていた。

改めて、最終学年としての3年次の立場の重要性に目を向けてみる。皆は2年間も先輩方の勇姿を目の当たりにしてきたし、迫力を肌で感じてきた。自ら手を挙げて志願した、多くの実行委員を中心に皆が力を結集して頑張っている理由は、今は自分達の番、という責任感から来るのではないだろうか。最終学年だからこそ魅せられる団結力、気迫がある。50回生の誇りを魅せつけられるチャンス、後輩の心に訴えるチャンスでもある。

ジブリの生みの親である宮崎駿さんは、自分達の仕事をクリエイティブな仕事というよりも、子供の時に誰かからもらった、そのバトンをそのまま渡すのではなくて、自分の身体の中を一度通して、それを次の子供たちに渡すんだ、という思いでされているようだ。

50回生の皆が今しかできないことは2つある。その1つは、全員で一丸となって体育大会を成功に導くこと。もう1つは、それぞれの進路実現に向けて毎日自己を磨き続けること。そのどちらもが自分のためだ。また、それは連綿と続いていく後輩へとつなぐリレーにもなる。体育大会は短期戦。進路決定は長期戦。どちらも健闘を祈ります。



勝者は実行し、敗者は約束しただけである

勝者は周りの雰囲気敏感であり、敗者は自分の感情にだけ敏感である

勝者は自分の役割以上の責任を負うが、敗者は「これだけしかできない」と言う

勝者は人を傷つけようとしませんが、敗者は知らないうちにそうしている

勝者は敗北から学び、敗者は新しいことを試みないで失敗しないことだけを学ぶ

・・・勝者のスコアボードより

学年演技（ソーラン節）に向けて



2組 三好 拓翔

ソーラン節の実行委員として体育大会で最高の演技をするために準備をしてきました。体育の授業やフォーメーションを実行委員で考え、放課後には居残りや自主練習を行い、振付の試行錯誤をしてきました。「圧巻のパフォーマンス」を共通の目標としています。高校生活最後の体育大会なので、足をつらない程度に全力で楽しみたいと思います。

4組 嵯峨山 葉音

私はクラスの体育委員、そして、ソーラン実行委員として日々努力を重ねてきました。体育のソーランの練習では、自分のフリの説明が下手なのにも関わらず、みんながついてきてくれました。行進の練習では、気を引き締めて少ない時間で終わらせるなど、周りに助けてもらったことが多く、自分も成長することができました。今年はそんなメンバーと一緒に優勝したいです。最後の体育大会を楽しもう。We are ivorys!!

5組 内藤 一貴

僕たちのクラスは授業では一人一人が全力で声を出し取り組んでいます。僕は1年、2年は体育委員としてクラスを引っ張ってきたので3年もクラスを引っ張って優勝したいと思っています。体育の授業ではクラスの団結力を発揮したので、体育大会でもそれを活かして挑んでいきたいと思います。個人の目標としては、去年優勝したので2年連続優勝を目指します。

1組 稲垣 直仁

着々と体育大会が近づいてきました。最後の体育大会であり、3年生のみんなが、一つ一つの競技にかけるとはすごい大きな、と感じました。そう感じたのはソーラン節を見た時です。僕たち実行委員はソーラン節の完成度を上げるために指導もきつくなることがありましたが、みんなが聞き入れてくれて全力で踊ってくれます。その姿を見て、僕たちもより全力になりました。

3組 水竹 尚斗

僕が体育委員になって初めての体育大会です。今年にはソーラン節があります。実行委員を中心に練習に取り組んできました。ソーラン節は低い体勢で踊らないといけないので、下半身が筋肉痛になり、しんどい日もたくさんありました。本番では悔いが残らないように最後まで低い体勢で踊りたいです。そして、高校生活最後の行事である体育大会を全力で楽しみたいと思います。



【香寺高校ホームページについて】

アドレス：<http://www.hyogo-c.ed.jp/~koderahs>

香寺高校ホームページは右記のQRコードでもご覧いただけます。

警報発令時の連絡や、各種書類のダウンロードが可能ですので、ぜひご活用ください◎

